

産業建設常任委員会

日 時 平成 2 6 年 4 月 1 5 日（火）午前 1 0 時～

場 所 第 3 委員会室

1 開議

2 案件

（ 1 ） 商業振興に係る状況把握

亀岡商業協同組合との意見交換会（委員会協議会）

（「ふれ愛カード」の展開について）

（ 2 ） 行政視察について

視察行程の確認及び視察項目に係る事前調査

3 その他

◎石川県小松市（人口108千人、面積371m²）

視察項目の概要

（１）環境王国こまつプロジェクト

小松市は平成23年10月、都市部を抱える市としては初となる「環境王国」に認定。全国にアピールできる大きなセールスポイントとして、農林水産物の販売、加工といった6次産業はもとより、里山、観光、環境、定住など多方面にわたる取り組みを行い、農業振興と交流人口の拡大をめざしている。

＜小松市資料P3～P5＞

①「環境王国」認定市としての活動内容、成果について

※環境王国とは…

自然環境と農業のバランスが取れ安心できる農産物の生産に適した地域として、環境王国認定協議会が認定する。（全国で13市町村）

⇒認定市町村間の相互連携により、ネットショッピングサイト「環境王国市場」等の展開。 ＜資料P6～P11＞

②6次産業化の取り組み、推進体制について ＜資料P11＞

- ・環境王国こまつ推進本部設置、6次産業化マッチング相談窓口を開設

⇒市内農林水産物を創意工夫により付加価値を高め、農業所得の向上を図るために、農商工連携や6次産業化による新たなビジネス創出のサポートを行う。

- ・小松市・コマツ・JAの6次産業化連携協定

（２）定住促進支援事業について

①支援事業の内容等について

人口増加・定住化により活力あるまちづくりをすすめるため、まちづくりの区域特性に応じて多様な奨励金等メニューを展開している。

- ・「ようこそ小松」定住促進奨励金
- ・まちなか住宅建築奨励金
- ・農山村住宅建築奨励金
- ・環境王国移住住宅改修奨励金
- ・住まいる小松奨励金
- ・3世代家族住宅建築奨励金
- ・空き家有効活用推奨金・家賃補助金
- ・景観まちづくり事業補助金
- 重点地区の住宅外観改修・実施設計の補助など
- ・こまつ町家・空家バンク

美しい街並みを形成する町家の利活用や保全を図ることを目的として、売買や賃貸に関する物件情報を提供、町家所有者への入居希望者の情報紹介等を行う。

＜資料P12～P19＞

本市の現状と課題・調査事項の抽出等
関連事業 ○亀岡市産業振興ビジョンに基づく新規施策 ・かめおか食産業振興プロジェクトの確立 （「食」をテーマとした農商工観連携、6次産業化の推進による産業振興）
考察（視察後）

◎富山県射水市（人口94千人、面積109m²）

視察項目の概要

（１）地域ブランド戦略について

射水ブランド推進事業（アクションプラン）

※地域ブランドの定義

「地域発の商品・サービスのブランド化」と「地域イメージのブランド化」を結び付け、好循環を生み出し、地域外の資金・人材を呼び込むという持続的な地域経済の活性化を図ること。（経済産業省）

射水ブランドの具体的戦略

ポイント：選ばれるまちをめざして、地域ブランドによる競争力を強化

実施期間：H24年度～H28年度までの5年間。H26年度に予定されている北陸新幹線開業までの期間を第1次とし、以降の期間を第2次とする。

目 標：「地域イメージの向上」と「交流人口の増加」

⇒数値目標を設定。 <射水市資料P3～P9>

取り組み：①地域イメージの全国発信 <P10～P11>

②食の魅力の創造 <P12～P14>

③ニューツーリズムの推進 <P15～P17>

④交通アクセスの整備 <P18～P19>

（２）もみ殻循環プロジェクトについて

もみ殻によるバイオマス産業創出

⇒日本初、世界初となるもみ殻再生可能エネルギー施設の実用化と焼却灰の珪酸肥料商品化をめざす取り組み。（JAや富山県立大学等との産学官連携による研究）

⇒未利用資源であるもみ殻を燃料として農業用施設で利用する技術及びを開発し、地域循環型社会の構築と新産業の創出を図る。

<効果>

温室効果ガスの抑制、焼却灰の肥料化により廃棄物が出ない。肥料化によるバイオマスビジネスの創出、肥料の安価流通（原料無料）、耐病性向上等

<将来への展望>

全国のもみ殻を灯油換算すれば、860億円相当の新エネルギーと変わる。

もみ殻灰は、農業由来の安全安心な純国産新規格肥料として、また耐病性等への効果もあり、新たな肥料市場が形成され生産物にも付加価値を与え、6次産業化の展開に貢献できる。全国、世界に発信し市のイメージアップを図る。

<成果>

H25年11月：もみ殻バイオマス培養土完成。（日本初）

販売商品名：もみ殻からできた土「ルー」

<資料P20～P24>

本市の現状と課題・調査事項の抽出等
関連事業 ○亀岡市産業振興ビジョンに基づく新規施策 ・かめおか食産業振興プロジェクトの確立（地域ブランド認定審査、販売戦略） ○カーボンマイナスプロジェクトの展開 ・炭素埋設農法野菜「クルベジ®」の販売 ○さくら有機（土づくりセンター）を活用した環境にやさしい環境保全型農業の促進
考察（視察後）

◎富山県高岡市（人口１７６千人、面積２０９．４２㎡）

視察項目の概要

（１）商業活性化支援事業について

①たかおか未来WEB商店街事業

目的

人口減少、高齢化、都市部への人口流出等により地域内消費が縮小する中で、小売商業者等のネット販売による販路拡大の取り組みを推進し、地域外での販路確保・確立を図り、基盤力のある商店街づくりをめざす。

事業内容

楽天市場への新規出店支援

（Ｈ２３．７月～）

＜高岡市資料Ｐ３～Ｐ５＞

Ｈ２４実績：４０社（Ｈ２８目標：８５社）

今後、商工会議所が主体となり、市と連携を図りながらインターネットビジネス参入を考える事業者に対し、研修会等の開催を検討していく。＜資料Ｐ６＞

②えき近夕市

JR高岡駅南北自由通路「万葉ロード」において、周辺住民の消費者ニーズに応え、中心市街地の賑わい創出と地産地消の推進を図るため、野菜や果物等を週２回販売する。＜資料Ｐ７＞

※その他特色ある取り組み

中心市街地への出店に関する支援

中心市街地の活性化のため、空き地、空き店舗等で新規開業する方を対象に家賃、店舗改装費等に対し支援を行う。＜資料Ｐ８＞

新産業創造プラットフォーム

研究開発から販路拡大の各段階における企業ニーズに、産業支援機関、研究機関、大学、金融機関等と連携を図りながら、ワンストップで対応し、市内企業を総合的に支援する窓口を産業企画課に開設し、新分野進出、新事業展開を図る意欲ある中小企業を支援することにより、将来の基幹産業を創出、育成し地域経済の活性化を図る取り組み。＜資料Ｐ１０＞

本市の現状と課題・調査事項の抽出等
<H25決算事務事業評価：商店街等活性化事業> 論点：各種補助施策は一過性、限定的な効果となっていないか。 評価：改革改善 ・事業展開の手法、成果のとり方を見直すこと ・商店に新たな価値を創出し、意欲のある個店を通じて底上げ、波及する効果をめざした手法を検討されたい。
考察（視察後）